

# UNIVERSITY CONSORTIUM TOCHIGI NEWS LETTER

 **大学コンソーシアムとちぎ**  
発行 大学コンソーシアムとちぎ事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (宇都宮大学内)  
TEL.028-649-5016 FAX.028-649-5079  
URL: <http://www.consortium-tochigi.jp/>

2009.1.15  
**Vol.4**



足利短期大学キャンパス

## コンソーシアムという試み

足利短期大学 学長 栗原俊夫

我が国の高等教育の分野に大学コンソーシアムという新しいシステムが誕生した社会的背景や発想について、詳しいことは知らないが、大学コンソーシアムは今や全国各地で形成され、社会的認知も徐々に広がっているようである。

そして政府もそうした高等教育機関連携組織の必要性と重要性を認識するようになり、今年発表された国の「教育振興基本計画」の中に「国立私立大学等の連携等を通じた地域振興のための取組などの社会貢献を支援する」という文言が盛り込まれた。大学コンソーシアムはまさに時代が要請する存在となったと言えるであろう。

個別の大学等には従来から教育・研究・社会貢献の機能を果たすことが求められてきたが、それらの機能を複数高等教育機関の連携がもたらす相乗効果によって、より大きく総合的に展開させようとするのが大学コンソーシアムの目的である。これは知識基盤社会となった現代の日本が必然的に高等教育機関に求めることとなった

システムであり、我々はそのことを十分に自覚して取組んでいかなければならないと思われる。

しかし、理想が高邁であればあるほどその実現は容易ではない。大学コンソーシアムがその機能を真に十分に発揮するためには、クリアしなければならぬいくつかの課題がある。例えばコンソーシアムを構成する各大学等の学部・学科、規模、研究体制、地理的条件等には大きな差異があるが、それらの異なる要素をうまく配合して新しい価値あるものを生み出すには、かなり高度なコーディネイトやマネジメントの力が求められる。また、個々の大学等の教職員および学生のコンソーシアムへの認識と意欲を高める必要がある。さらに事業実施結果の効果測定の問題もある。

しかし、いろいろな課題や困難はあるにしても、それらをひとつずつ克服して、社会の要請にこたえていくことが我々に与えられた役割であろう。

共催事業

宇都宮大学



# 国際キャリア合宿セミナー2008



を開催しました。



宇都宮大学では、「国際キャリア合宿セミナー2008」を9月20日(土)から22日(月)まで開催した。今回で5回目となる本セミナーは、国際協力や国際交流に関心をもち、国際機関や国際交流団体、あるいは世界を舞台に活躍するNGOや企業などで活躍したいと考える若者たちにそうした仕事に関する正しい知識と、そこで求められる能力、そこにいたる具体的な道筋やキャリア形成について学ぶ機会を提供することを目的に、2004年から開催されている。

昨年引き続き「国際舞台で活躍をめざす若者たちへ」をテーマに、宇都宮大学を中心に白鷗大学、国際医療福祉大学、作新学院大学、栃木県、国際協力機構・JICA地球ひろば、大学コンソーシアムとちぎ、いっくら国際文化交流会等の後援、協力を得て実施された。

開講にあたり、菅野宇都宮大学学長から、「世界全体で人・もの・情報の流れが活発化し、日本社会の国際化も急速に進行しているが、国際機関やNGOなどで働く日本人の数は、日本の国力に比して決して多くない。こうした状況下で国際学部を有する宇都宮大学が、国際舞台で活躍する人材の育成に向けて、国際キャリア教育を実践する意義は大きい。また、こうした行事を大学内にとどめず、地域の諸団体との協力のもとに企画し、参加対象を広く栃木県内外の学生・青年・社会人として開催する仕組みは、地域に開かれたこれからの大学をいち早く実践するものとしてきわめて有意義だ」とする挨拶があった。

また、参加者数は約100名にのぼり、宇都宮大学のほか、白鷗大学、筑波大学、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、大阪大学、島根大学などの大学及び企業等からの参加があった。特に、宇都宮大学、白鷗大学、および、国際医療福祉大学の学生には、セミナー参加による単位認定が行われ好評を得た。最後に、閉講式で開催者側から、本セミナーを全国規模に発展させたい抱負が語られ閉会した。

セミナーは、講師として国際機関、国際NGO、ソーシャルビジネス、異文化間コミュニケーション、国際イベンツ企画、国際医療保健などの国際的活動の第一線で活躍している8名を迎え、講義、分科会、パネルトーク、フリートーク、全体発表等、2泊3日の合宿形式で行われた。

**大学コンソーシアムとちぎ 活動報告 2008.4.1~2008.12**

**主催事業**

2008.8.8

**大学コンソーシアムとちぎ学長懇談会及び栃木県知事との懇談会**



平成20年度大学コンソーシアムとちぎ学長懇談会及び知事との懇談会が、8月8日（金）ホテルニューイタヤにて開催されました。  
学長懇談会では、栃木県の大学進学率について、平成21年度予算の概算要求における国立大学法人運営費交付金、私立学校振興費等削減（3%）の対応についてなどを議題に、活発な論議がなされました。  
栃木県知事との懇談会では、前記の議題の他に、本県芸術文化の振興を図

るための「産官学連携によるコンソーシアム」推進について、県民の文化財研究・民俗学研究などの総括やその情報発信について、大学コンソーシアムとちぎへの県・市町の財政支援と人的支援等についてなどが、なごやかな雰囲気の中、論議がなされました。  
また、大学コンソーシアムとちぎでは、この懇談会で議論された「国立大学法人運営費交付金、私学助成費の削減反対（声明文）」の記者発表を左記のとおり行ないました。

**国立大学法人運営費交付金及び私学助成費の削減反対（声明文）記者発表**

大学コンソーシアムとちぎは、概算要求基準における国立大学法人運営費交付金及び私学助成費の削減反対（声明文）を平成20年10月2日（木）に県政記者クラブ（県庁本館3F）にて記者発表いたしました。

※詳しくは<http://www.consortium-tochigi.jp/>をご覧ください。

**共催事業**



2007.7.3

**宇都宮共和大学シンポジウム**

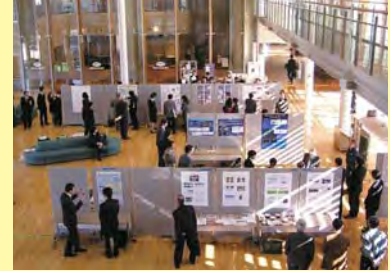


**主催事業**



2008.12.6

**大学コンソーシアムとちぎサテライト事業委員会 第5回「学生&企業研究発表会」**



## チェック!

大学コンソーシアムとちぎの  
ホームページが  
公開されています。

<http://www.consortium-tochigi.jp/>



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみならずには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

## 大学コンソーシアムとちぎ役員 (平成21年1月1日現在)

理事長	菅野長右門	宇都宮大学長
副理事長	牛山 泉	足利工業大学長
副理事長	谷 修一	国際医療福祉大学長
副理事長	太田 周	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長
理事	板橋 敏雄	社団法人栃木県経済同友会代表幹事
理事	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	沖永 佳史	帝京大学長
理事	鯨井 佑士	放送大学栃木学習センター所長
理事	久保 紘	関東職業能力開発大学校長
理事	栗原 俊夫	足利短期大学長
理事	佐藤 順一	栃木県総合政策部長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	高久 史麿	自治医科大学長
理事	寺野 彰	獨協医科大学長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	藤本 光宏	小山工業高等専門学校長
理事	森山 眞弓	白鷗大学長
理事	谷島 一嘉	佐野短期大学長
理事(事務局長)	山本 純雄	宇都宮大学副学長
監事	内野 直忠	前学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事

## 大学コンソーシアムとちぎ事務局 (平成21年1月1日現在)

現在、宇都宮大学産学地域連携課が担当しております。

## 編集後記

大学コンソーシアムとちぎ構成員の方々におかれましては大変お世話になり有難うございます。本年もよろしく申し上げます。本年は、まだ雪も少なく暖冬と感じさせますが、それとて寒暖の差がありカゼが流行っています。ご自愛ください。

さて、私も大学コンソーシアムとちぎ事務局を担当して早1年になろうとしております。各構成機関の事務担当者や各事業委員会関係者の方々とは種々ご連絡を取らせていただいておりますが、その方々以外の方とお話をいたしますと大学コンソーシアムとちぎのことは知っているが、何をやっているのか解らないということをお聞きます。平成17年4月に設立されて以来、周知度は図られてきましたが、熟成度は少ないという印象です。これから熟成度を高めるためには新たな事業の展開が必要だと考えます。大学コンソーシアムとちぎの業務に係わる方々は兼務として従事することとなり大変ですが、コンソーシアムという特性(多くの人的資源)を活かして英知を出せば進めていけると確信します。と言っても、コンソーシアムの業務に偏りがあってはならないと思います。そのためには、分担したそれぞれのセクションに連携をとるためのキーマンが必要だと感じています。構成機関にそれぞれある程度業務が平均化され自責をもって分担することによりコンソーシアムに活力が生まれ熟成度を高めることができると考えます。言うことは簡単ですが、これから、これらの具体化に向けて事務局として情報を得ながら取り組んでいきたいと思っています。

事務局担当 原 正巳

## 大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足利工業大学 足利短期大学 宇都宮共和大学 宇都宮短期大学 宇都宮大学  
宇都宮文星短期大学 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 國學院大學栃木短期大学 国際医療福祉大学  
作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野短期大学 自治医科大学 帝京大学  
獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学 放送大学栃木学習センター